

事務事業事後評価シート[平成28年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	都市整備部都市計画課		■担当係	公園緑地係
■評価事業名称	保存樹木等事務			
■事業開始年度				
■評価事業コード	070400 - 555	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	05 誰もが快適に暮らし続けられるまちづくり		
	■基本施策	01 快適な居住環境の形成		
	■施策	03 緑のまちづくりの推進		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に定めはあるが任意の自治事務			
■法令等の名称	都市緑地法			
■関連計画の名称	北上市緑の基本計画			
■事業の目的と概要	緑の保全・育成を図ることにより、景観に配慮した良好な都市環境の形成を促進する。保存樹木、泉等指定事務、保存樹木等維持管理補助金の交付			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成28年度事業計画	平成28年度事業量実績
01	保存樹木等事務	一般	保存樹木維持管理費補助金交付5件、 保存木保険加入等	保存樹木維持管理費補助金交付0件、 保存木保険加入等

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	備考
直接事業費	203	66	73	66	
人件費	840	916	819	375	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	1,043	982	892	441	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	25年度	26年度	27年度	28年度	指標の説明
01	看板設置数	1基	0基	0基	0基	保存樹木に関する看板設置件数
02	賠償責任保険加入件数	65件	65件	63件		保存樹木における保険加入件数(指定毎の件数)
03	保存樹木等の保存率	100%	100%	96.9% $(\frac{63}{65})$		保存件数(年度期首指定件数-年度内指定解除件数)÷年度期首指定件数

事務事業事後評価シート[平成28年度事業]

04	1基当りコスト	1,043	0	0	0	フルコスト／看板設置数
05	1件当り(加入件数)コスト	16,046円	15,107円	14,158円	7,112円	フルコスト／賠償責任保険加入件数

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

補助金制度を整備しているものの、利用件数が少ない状況であり、緑の保全に向けた取り組みが必要である。

問題点・課題等

保存樹木の老化による枯死等が発生しており、継続して保存状況を確認する必要がある。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

7. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)

「北上市みどりの基本計画改訂版(H26.3)」において、保存樹木に対する補助制度の継続を挙げており、保存樹木自体の老化が進んでいることから、補助制度PR等の取り組みが必要である。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了